

もったいないを必要とひとへ！行政×社協の食支援でつながる「むらの循環プロジェクト」

地域福祉 × フードドライブ (食品ロス削減)



食品ロスとは

“本来食べられるのに捨てられてしまう食べ物” のことです。

フードドライブとは

家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンク、福祉施設等に寄附する活動のことで、ご家庭から発生する食品ロス削減に繋がります。

フードドライブをおこないます

『南山城村社会福祉大会・南山城村ボランティア大会』会場内に、フードドライブブース「南山城フードサイクルブース」を開設します。

第 43 回南山城村社会福祉大会・第 33 回南山城村ボランティア大会

日時 令和 8 年 10 月 31 日 (土) 13 時～16 時

場所 南山城村文化会館 (やまなみホール) 研修室 (※詳しくは裏面をご覧ください)

※食品ロス削減月間 (10 月) に合わせ、10 月 1 日～31 日の開庁日に、建設環境課窓口と社会福祉協議会の会議室前でもフードドライブの受付を実施します。なお、南山城村社会福祉協議会では、期間に限らず随時受付しています。

寄付いただきたい食品

以下のすべてを満たすもの

- ・常温保存できるもの
- ・新品・未開封で包装が破損していないもの
- ・商品説明が日本語表記のもの
(外国語表記の上に日本語表記がされているもの)
- ・消費期限または賞味期限が1か月以上あるもの



※受付時に確認後お持ち帰りいただく場合がございますので、ご了承ください。



寄付できない食品

- ・生鮮食品（野菜・果物等）
(農家さんから寄付いただけるお米、玄米、もち米は除く)
- ・冷蔵、冷凍が必要な食品
- ・アルコール類（調理酒、みりんを除く）
- ・手づくり品、お弁当、食べ残しの食品
- ・医薬品・サプリメント
- ・消費期限、賞味期限の記載のないもの

ご寄付いただきました食品等は、南山城村社会福祉協議会に寄付をおこない、地域福祉事業に役立てていただきます。

台所から始める食品ロス対策

ごみは、毎日の暮らしの中で当たり前のように出て、当たり前のようにごみ袋に入れてステーションに運びます。

でも、その先にある「処理のしくみ」や「費用」のことは、普段なかなか意識しないのではないのでしょうか。実は、台所でのちょっとした工夫が、**ごみを減らし、地域の負担を軽くする**ことにつながっています。ここでは、そんな“気づけばできる”身近な例を紹介します。

水切り

生ごみの水をしっかり切るだけで、ごみはかなり軽くなります。味噌汁の具や野菜くずをそのまま捨てると、重さの半分以上が“水”。ほんのひと手間で、「ごみ減量」にも「におい」の軽減にもつながります。

冷蔵庫の忘れ物

冷蔵庫の奥で、いつの間にか賞味期限が切れてしまった食品はありませんか。買いすぎを防ぐために、買い物前に“冷蔵庫の中を確認”“写真を撮る”だけでも食品ロスは減らせます。



日本では年間、約464万t（令和5年度）の食品ロスが発生しています。毎日一人当たり“お茶碗1杯のご飯”に近い量を捨てていることになります。

【お問い合わせ】

南山城村 建設環境課 和田、森西
電話：0743-93-0106